

平成25年度若槻地区文芸祭

今年の第37回文芸祭は10月6日（日）コミュニティセンターで開催されました。例年どおりの体育館における舞台発表と会議室での美術工芸作品の展示発表でした。

9時30分、体育館において開会式が実施され、続けて徳間小学校金管バンドによる吹奏楽の演奏が始まりました。これを皮切りに午前中に11団体、お昼に駐車場での太鼓演奏、午後9団体合計20団体21演目の発表が行われました。

演目の内訳は合唱7、楽器演奏8、舞踊6ですが、中身は和洋新古様々で、地域の文化活動の幅の広さを反映しています。本年度も1団体が新規参加しました。

最後は最終演奏団体の「歌蛙」と会場の観客全員での「ふるさと」の合唱でしめました。

一方、大中小会議室を全部使った展示部門は7団体と十余名の個人及び1校による美術工芸作品が発表されました。

書道の70点を最高に、絵画30点、折り紙20余点、写真17点、絵画10点、フラワーアレンジメント6点、盆栽5点、切り絵5点のほか木彫り・パッチワークなど手工芸品10点が出品されました。このほかに廊下でトランプのマジックを披露し好評を博しました。

ほかの発表会との競合や高齢化により、参加者が昨年より若干減少しましたが、新たな参加者もあり、コンパクトにまとまった文芸祭でした。参加者は舞台展示全体で620名ほどでした。

(公民館部会)



環境学習会を終えて

ごみの有料化でごみが減った!! (^-^)

9月19日（木）「長野市のごみ処理について」市の出前講座が開催されました。

平成21年10月のごみ有料化制度導入後、ごみは減少して平成20年度と比較して平成24年度は可燃ごみは14%、不燃ごみも18%減ったそうです。これはひとり一人の努力の結果だと思います。これからもごみの減量とリサイクルに協力し分別をしっかりとやりましょう。

(環境部会)



第1回 介護者のつどい

まずは体力から。



9月13日（金）、今年度第一回「介護者のつどい」が「りんごの湯」において7名参加で開催されました。今回は介護している皆さんの交流タイムを長めにとり、日頃の介護について語っていただきました。結果、「介護の話ができる機会を持てて、気が楽になった」「自分一人が大変な思いをしているのではなかった。他に介護している人の話を聞けて良かった」などの声が聞かれました。その後は食事や入浴、カラオケなどでゆっくり一日を過ごしました。

次の開催は2月5日（水）です。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

(福祉部会)